



日本CHO協会

Japan Society for Chief Human Officer

日本CHO協会は現在、約550社の人事部門・ダイバーシティ推進部門の部長・室長・課長層を中心に、約1,200名の方々が会員となり、様々なプログラムにご参加頂くと共に、会員間の交流も深めてまいりました。本年も、会員の皆様の課題やニーズを踏まえた、様々な切り口のテーマをご用意致しますので、引き続きよろしくお願い致します。

さて新春第1回目のプログラムは、「グローバル人材育成」をテーマとした公開シンポジウムと致しました。グローバル競争がますます激化する中、マーケットも人材もグローバルベースで最適化を考えるべき時代を迎えました。

今回のシンポジウムは、これまで80か国延べ5万人の人材育成に、教育研修やコンサルティングに関わってきた、グローバル人材育成の第一人者である船川淳志氏の基調講演をはじめ、グローバル人材育成企業の代名詞とも言えるGEと、日本発のグローバル化を推し進めるカゴメの取り組み事例紹介、3氏によるトークセッション、参加者同士のグループ情報交換と、多彩なカリキュラムにて、グローバル人材育成の本質に迫ります。

また新春第1回目の会合として、シンポジウム終了後には、軽食と飲み物をご用意した賀詞交歓会も開催します。グローバル人材育成に関心のある方なら、日本CHO協会の会員以外でも参加出来る「無料公開シンポジウム」です。参加を希望される方は、裏面のURLから、お申込みください。

プログラムのご紹介

■日時 2020年1月21日(火) (シンポジウム) 14:00~17:30 (賀詞交歓会) 17:30~18:30

■場所 パソナグループ本部ビルJOB HUB SQUARE 2Fホール(〒100-8228 東京都千代田区大手町2-6-2 ※JR東京駅 日本橋口 正面)

■カリキュラム

PART 1 (基調講演)「M21を視野に入れたグローバル人材の育成ポイント」 グローバルインパクト 船川淳志氏

PART 2 (事例紹介①)「GEのグローバル人材育成」 GEヘルスケア・ジャパン 宇佐見英司氏

(事例紹介②)「グローバルで勝ち続けるための、旧来の日本型人事制度からの脱却」 カゴメ 有沢正人氏

PART 3 (トークセッション)「グローバル化の進展と、これからのグローバル人材育成」
[パネリスト] 宇佐見英司氏・有沢正人氏 [進行役] 船川淳志氏

PART 4 参加者同士のグループ情報交換

PART 5 全体質疑応答

PART 6 賀詞交歓会

登壇者のご紹介



株式会社グローバル インパクト
代表パートナー

船川 淳志 氏

■メッセージ

21世紀も最初の5分の1を終え、2030年以降、つまり21世紀中盤(M21)を視野に入れた人材育成に取り組むステージになりました。「全球化(グローバル化)」と「多変な時代」の様相がますます顕著になり、産業革命4.0の社会に突入する中、そこで活躍できる人材ニーズがますます高まっています。そこで、28年のコンサルティング及び人材育成の経験から、これから磨くべき3つの力(洞察力・創造力・対話力)、新リベラルアーツ4領域、イノベーションを育む習慣「コネクティング・ドット」等について、皆さんと一緒に考えていきたいと思います。

■プロフィール

慶大卒、東芝及び外資金融勤務後、渡米。サンダーバード校にてMBA取得後、米国シリコンバレーで4年間の「コンサル修行」。その後、日本に帰国し、立ち上げ3年目のグローバルに参画。同社シニアマネジャーを経て、グローバルインパクトを設立し、グローバル企業のコンサルティング案件、及び教育を通じて幅広く人材育成を手掛ける。直接受講者はこれまで80か国超、5万人近くにのぼり、NHK教育テレビ番組講師、サンダーバード日本校准教授の他、早稲田、ICU他各大学での非常勤講師も務めた。著書に『Transcultural Management』(米国Jossey-Bass出版1997年)「グローバルリーダーの条件」(大前研一氏との共著、PHP、2009年)等、多数。



GEヘルスケア・ジャパン株式会社
執行役員 アジアパシフィック 人事部長

宇佐見 英司 氏

■メッセージ

グローバル人材育成はLeadershipと人材育成を企業競争力の源泉と考えるGEにとって継続的な重要テーマです。事業構造の大転換期の最中、従来から変わることなく大切にしている考え方やプラクティスと、現在進行形で進む新たな取り組みや変革について、事例を交えながらご紹介させて頂き、皆様とディスカッションできればと思います。

■プロフィール

上智大学卒業後1996年富士通(株)入社。本社グローバル人事部にて、海外グループ企業の経営サポート・ガバナンス・人事戦略立案等を担当。通算10年間の米国勤務を通じ、企業での処遇評価制度の設計・連続M&Aによる事業拡大等に携わる。

2010年よりGEヘルスケア・ジャパン(株)に入社。同社C&Bマネジャーを経て、2012年日本GE(現GEジャパン(株))に移り、C&BRegionCoEを立ち上げ、2015年からGEアジア・パシフィック・リジョンの処遇・福利厚生制度・HRポリシー等の責任者を務める。2017年6月よりGEヘルスケアに戻り、アジアパシフィック人事部長に就任。著書に「リテンション・クライシス」(2009ファーストプレス出版)。



カゴメ株式会社 常務執行役員
CHO(最高人事責任者)

有沢 正人 氏

■メッセージ

政府による「働き方改革」が急速に推進され、雇用や人材育成を取り巻く環境が大きく変貌を遂げようとしています。そうした中、企業経営において人事部門の役割はますます高まってきており、その中でも特に「グローバル人事の展開」は人材育成に限らず、人事戦略の中でも最も重要な課題に位置付けられるでしょう。しかしながら、まだまだそのように受けとめられていないのが、多くの企業の現状ではないでしょうか。本シンポジウムでは、カゴメの事例もご紹介し、「グローバル人事」をみなさまと一緒に考えていきたいと思います。

■プロフィール

1984年協和銀行(現りそな銀行)入行。銀行派遣にて米国でMBAを取得後、主に人事、経営企画に携わる。2004年日系精密機器メーカーHOYAに入社。人事担当ディレクターとして全世界のグループ人事を統括、全世界共通の職務等級制度や評価制度の導入を行う。2009年外資系保険会社AIG保険に人事担当執行役員として入社。日本独自のジョブグレーディング制度や評価制度を構築。

2012年1月カゴメ(株)入社。カゴメの人事面におけるグローバル化の統括責任者となる。2012年10月より執行役員CHOとなり、国内だけでなく全世界のカゴメの人事最高責任者となる。2018年4月常務執行役員CHOに就任(現職)。

新春公開シンポジウム

参加費無料

「2020年からのグローバル人材育成を考える」

申込用紙は裏面へ

※席数に限りがあり、先着順とさせていただきます。お早めにお申し込みください。

Tel : 03-6256-0284
Fax : 03-6225-5101
E-mail : cho@pasonagroup.co.jp
URL : <http://www.i-cho.jp>